

浅間山北麓ジオパーク

認定ジオガイド 尺田 憲治 氏

人生最後まで積極的に生きる

嬭恋村に移住して16年、私は知らぬ間に80歳になっている。ひと昔前なら、いや現在でも80歳を待たずしてこの世を去る人は多い。健康でここまで生きてきたことに感謝し喜ばなくてはならないだろう。現在の私は、北軽井沢スイートグラスというオートキャンプ場で働きながら、浅間山北麓ジオパークのガイドをしている。標高1100mを超え、冬にはマイナス20℃になる日もあるという厳寒の地であることも知らず移住してきたが、ここでの生活に慣れてくるにつれ自然豊かなこの地が何か秘密めいた素晴らしいところだと感じるようになっていた。それは、日本有数の活火山「浅間山」がもたらした、他では見られない火山現象のせいかもしれない。私の住むプリンスランドには、その名残のある巨大な溶岩がいたるところにある。また、50年前このプリンスランドができた頃には、どこからも浅間山が見えていたと聞く。今ではほとんどの場所から浅間山は見え、50年の年月がもたらした樹木の生長を知り、改めて自然の力の偉大さを知った。そんな時、2016年に浅間山北麓ジオパークが誕生し、翌年ジオガイド養成講座が開催され、ジオガイドになった私は、様々な場所でのガイドを始めたが、3年前から星空ガイドにも挑戦し、最近では長野原町にある一般社団法人「つなぐカンパニーながのはら」のハッ場ダム認定ガイドとして、ハッ場ダムのガイドもやるようになった。私が現在元気なのは、このような積極的生き方にあると思われる。少しでも社会に貢献できるという喜びを持つ限り、私の挑戦は続き人生最後まで積極的に生きることになるだろう。移住後16年間毎日更新しているブログ「北軽井沢虹の街爽やかな風」には、その日々の生活を綴っている。



-be-北軽井沢キャンプフィールド
オーナー 佐久間 亮介 氏

火のあたたかに感動し、ゆらめきに癒される

コロナ禍でキャンプが一大ブームとなりました。テントを設営し、自然の中で食事をして一晩過ごす。日々忙しく働く現代人が喧騒から離れて、自然のリズムにそって生活をするキャンプは、多くの人を惹きつけました。そんなキャンプブームの最中、多くの人を楽しみにしているのが焚き火や薪ストーブを使った“火遊び”です。

キャンプ場で枝をひろい、火打石で火をつけ、薪をくべて大きくしていく。生の火を見たこともない子どもたちは、燃え上がる炎に感動。自分たちでおこした火でアウトドア料理を楽しんだり、ただただ炎を眺めてリラックスしている人もいます。加えて、ここ数年は薪ストーブを使って、冬キャンプを楽しむ人が急増しています。一部のキャンプ用品メーカーは、テントの中に薪ストーブを入れられるテントを販売しています。焚き火同様、薪を燃やした熱源で鍋料理を作ったり、薪ストーブのガラス窓越しにみる炎を楽しめます。

外は氷点下だけど、テントの内はポカポカ。トイレや炊事などでテントの外へ出るとキリッと冷えた空気が体を包む。夜は空の澄んだ空に輝く満天の星に感動する。そんな冬ならではのキャンプでの過ごし方に病みつきになり、「冬こそがキャンプシーズン」と言う人もたくさんいます。

薪ストーブを扱う際は、一酸化炭素中毒や火事など注意が必要でもあるのですが、正しい知識とスキルを身につければ多くの人が楽しめます。寒いからこそ、より一層感じる火のありがたみ。これからも多くの現代人を魅了しそうです。



あさまびと

A S A M A - B I T O

2023 冬号

Vol.27

地域の成り立ちから、地球の成り立ちを知る

SDGs × ASAMA

特集：炎を楽しむ



北軽井沢炎のまつり (青木樹里氏)

アンケートに答えると総勢5名様に
ハンドブック（非売品）が当たる！



Together Forever
アンケートはこちら



ジオパークからのお知らせ

冬のイベント情報！

12/29～1/3	年末年始 休館
3/2～3/17の土日	浅間山北麓ジオパークガイド養成講座

発行：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council
制作担当：広報・観光委員会
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45
TEL/FAX：0279-82-5566
URL：www.mtasama.com
E-mail：info@mtasama2568.xsrv.jp
Facebook：www.facebook.com/asamageopark
Twitter：https://twitter.com/home

ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。

[料金]*ガイド1名あたりの値段
平地：半日6,000円 1日12,000円 (参加者11名以上はガイド2名)
軽登山：半日10,000円 1日15,000円 (参加者8名以上ガイド2名)
登山：1日25,000円 (参加者8名以上ガイド2名)

編集後記

2023年も残すところ1カ月となりました。やり残したことはありませんか？お身体に気を付けて、2024年も元気に過ごせるよう、よい年越しをお過ごしください！

火は本来動物にとって怖い、危険な物。それを利用して生活に取り入れたのが約20万年前に誕生した人類であり、唯一の動物と言えるでしょう。その長い歴史を経て、我々のDNAの中に炎に対する親しみが刻まれ、炎を見ると癒されるような感情が生まれるのかもしれませんが、しかし、山火事や火山の噴火等、人類がコントロール出来ない炎はまだ怖い存在です。今回は、この炎を楽しみ、上手に活用する方法を紹介します。

Winter Camp!

冬でも自然を
めいっばい楽しもう!



澄んだ空を感じる。
美しい星空を眺める。
焚き火で暖をとって語りあう。
あったか〜い料理を食べる。
朝のコーヒーを淹れる。
冬でしか味わえない魅力がたくさん!



ダッチオーブンで作る簡単無水ビーフシチュー

- 材料(4人前)
- 牛肉(シチュー用) 500g
 - たまねぎ1個
 - じゃがいも1個
 - にんじん1本
 - デミグラスソース1缶
 - ケチャップ大さじ1
 - 赤ワイン500ml
 - 塩適量
 - こしょう適量
 - バター20g
 - ローリエ2枚



たまねぎはくし切り、じゃがいもはひと口大に、にんじんは乱切りにしておく。牛肉はひと口大に切り、塩こしょうをふって軽く揉み込む。

1



ダッチオーブンにバターを熱して強火で牛肉に焼き色をつけたあと、たまねぎとにんじんを加えて、たまねぎがしんなりするまで炒める。



赤ワインを加えて沸騰したらアクをとる。その後ローリエを加え、蓋をして中火で1時間ほど煮込む。

3



仕上げにじゃがいも、デミグラスソース、ケチャップを加えて、蓋をせずに弱火で20分かき混ぜながら煮込む。



提供：本田技研工業株式会社 Hondaキャンプ 様

温かい料理で
気持ちもほっこり



冬のバラギ湖ではワカサギ釣りも!



ワカサギのから揚げ

カリカリ!サクサク!

衣にチーズや海苔、カレー粉を入れても美味しくなります!



多くのスキーヤーを魅了するパウダースノーを楽しめるのもこの場所・この時期ならではの楽しみ方!

長野原町北軽井沢で行われている雪合戦は国際大会にも出ているほど熱い!



気軽に雪を楽しむならば、スノーシューがおすすめ! 子供から大人まで幅広く楽しめます!

雪で遊んだあとに、みんなで火を囲んでゆったり過ごすのが癒されます。。。

炎がもつ癒しのゆらぎ



炎のゆらぎには人の心を癒す「1/fゆらぎ」というリズムがあります。火を囲みながら、家族や友人と語り合い、いつもの日常とは少し違う時間を過ごしてみませんか?

Swedentorch

スウェーデントーチ

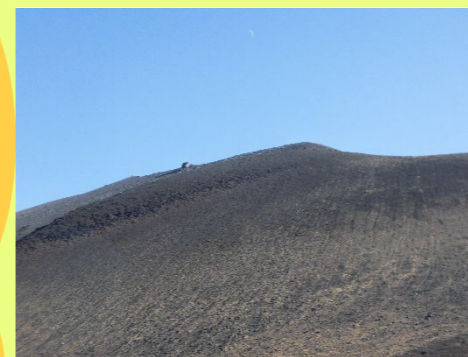


スウェーデントーチは、垂直に立てた木の幹に切り込みを入れて燃やし、手軽に焚き火が楽しめる手法のことです。

雪を
楽しもう!

スノーシュー、雪合戦、スキー。寒い冬にしかできないことをして、心も身体もポカポカに温まっちゃいましょう!

ちよこつと豆知識



A. 山頂エリア 千トン岩

近年の浅間山噴火によって放出された噴石(岩塊)は、前掛山及び釜山周辺に無数に散在する。1mを超える岩塊は、傾斜の緩くなった場所や凹地、鞍部に集中しているが、山体の斜面や隣接する黒斑山の尾根沿いにも大小のクレーターや噴石を確認することができる。その中でも「千トン岩」は、1950(昭和25)年9月23日の噴火で噴出された巨大な火山岩塊で、最近の噴火で噴出されたもののうち、現存する最大のものでされている。その大きさから地元では「千トン岩」と呼ばれるが、実際には2万3千トンはあるものと推定されており、火山噴火のエネルギーの大きさを感じることができる。